

## 講演者プロフィール

### グンナー・ノルドバーグ 博士 (Gunner Nordberg, PhD(Med. Dr))



1972年、カロリンスカ研究所(ストックホルム、スウェーデン)においてカドミウム代謝と毒性研究で博士号取得。EPA(米国環境保護庁)等で研究活動後、カロリンスカ研究所教授、オデンセ大学(デンマーク)等を経て、1979年からウメオ大学公衆衛生臨床医学部産業環境医学科環境医学専攻終身教授。

1989年から1年間、客員研究員としてIARC(国際癌研究機関)に在職し、また、1989年から1996年まで国際産業保健学会金属毒性学科学委員会座長を務めた。

主に毒性学及び金属疫学や他の環境因子に関する著作多数。また、EUや国際的なプロジェクトに多数参加。現在は、FAS、FORMAS(スウェーデンの資金提供機関)による「室内プールにおけるトリクロラミン」研究のプロジェクトに従事している。

### モニカ・ノルドバーグ 博士 (Monica Nordberg, PhD(Dr))



ストックホルム大学を卒業後、1977年、カロリンスカ研究所環境衛生学部でメタロチオネイン\*およびカドミウムの研究により博士号取得。米国環境健康科学研究所客員研究員、国家防衛委員会毒性学教授等を経て、1983年からカロリンスカ研究所環境医学研究部門環境健康リスク評価准教授。1988年から1993年までは同研究所環境衛生学部長を務めた。

2003年から国際産業保健学会金属毒性学科学委員会座長、2004年から国際学微量元素学会副会長、また、本年からIUAPC(国際純粋応用化学連合)名誉会員に任命されている。

たん白質化学、生化学的金属毒性学、特に有毒性作用や健康影響評価に多く業績を残している。

#### \* メタロチオネイン (metallothionein)

システイン(アミノ酸の一種)含量の高い分子量6,000~7,000のたん白質。生体内でカドミウムや水銀などの有害重金属に結合して無毒化したり、生体に必須な亜鉛や銅の蓄積と輸送に関わる。